

# 通信小海

## 規制緩和と格差

牧師 水草修治



十年前と今とではずいぶん労働環境が変わった。非正規雇用者は、十年前は全雇用者の五人に一人、一千万人ほどだったが、今では三人に一人、千六百六十三万人である。特に、新卒で正社員になりたくてもなれない若者が増え、高卒で正社員にならない人は四六パーセントにのぼる。アルバイトや派遣社員をしながら、将来に展望が開けず、年を取っていく二十代が今や五百万人だという。

経済的事情から自殺する人の数は、ここ十年で急増した。一九九五年に千二百件だったものが、二一三年には八千九百件である。

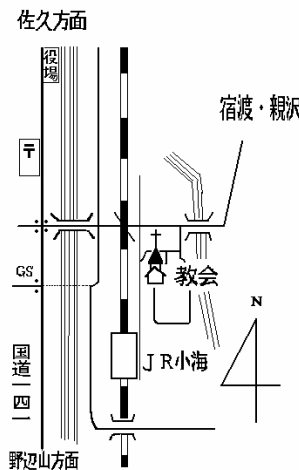
◀今月の御言葉▶  
 「神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。」(コロサイ一:十三)

戦後ながらく派遣労働は禁止されていた。それは、戦前の工事現場などでヤクザが労働者を困い込み、派遣することで、給料を暴力団が受け取り、その多くをピンハネする悪習があったからである。派遣労働が戦後禁止されたので、労働者は定年まで雇用を保证されて結婚、子育てなど生涯設計を立てることができるようになった。

ところが、九六年に労働者派遣法が規制緩和され、従来、秘書・通訳など十六の専門業種に限られていた業種を二十六に増やし、九年には一部をのぞいて原則自由化。さらに二四年に派遣労働の期間を三年まで延長し、従来規制されていた製造現場・社会福祉施設での派遣労働も認めた。派遣社員は低賃金で、昇給もほとんどなく、医療保険・厚生年金の補助もなく、雇用の身分保障もない。企業にとっては安上がりだが、働く者は結婚や子育てなど人生設計の立てようがな

日本同盟基督教団小海キリスト教会 牧師 水草修治  
 会堂・牧師館 南佐久郡小海町大字小海四三五五 二七  
 千三八四一一 二二 二六七九二四七七六  
 カンパ宛先〒振替005300 61683

## 見晴台の教会へどうぞ



## 集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分  
 朝礼拝 午前十時から十一時半  
 夕礼拝 午後八時から九時

水曜日 祈り会 午前十時半と午後七時半  
 \*海尻・川上で毎月家庭集会あり。  
 \*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

い。

しかし、政府は構造改革が功を奏して、イザナギ景気を超える好景気だと自画自賛し、大企業は未曾有の利益を上げ、かつ減税の確約を得て、与党へ政治献金をする。が、利益が上がったのは、企業が労働者に支払うべき賃金を払っていないからなのである。

聖書（ローマ書十三章）は国の役割とは、警察をもって社会秩序を維持することと、徴税で富を再分配し格差を是正することだと教える。私有財産を否定し国有化するような体制は国の偶像化を招くのよくないが、他方では、金持ちが好き放題に貧しい人々から奪い取れないように規制することも国の仕事なのである。要はバランスである。神は警告しておられる。

「聞きなさい。金持ちたち。あなたがたの上に迫って来る悲惨を思って泣き叫びなさい。あなたがたの富は腐っており、あなたがたの着物は虫に食われており、あなたがたの金銀にはさびが来て、そのさびが、あなたがたを責める証言となり、あなた

がたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財宝をたくわえました。見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。そして、取り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。あなたがたは、地上でぜいたくに暮らし、快樂にふけり、殺される日にあたって自分の心を太らせました。」ヤコブ書五一 五

## 海尻井出博彦さんち

### で家庭集会

一月二十五日（木）夜七時半から九時、聖書を読む会をします。ご一報くださってお越しください。 **96 2534**

## 南相木でも家庭集会

\* 一月十八日木曜夜七時半から九時

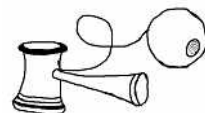
\* 日向中島悦子さん宅です。

\* 家庭集会には牧師夫婦がでかけ、聖書を読んだり賛美歌を歌ったりします。近くから遠くから、どなたでも気軽にどうぞ。

お米・毛布を感謝します

箱をください

野宿者支援



多くのお米のご支援をいただき、山谷の野宿者たちも年を越すことができました。感謝します。

山谷農場では、広島の野宿者支援のためにも物資を発送しています。その物資の容器として用いてきた白菜・レタスなどダンボール箱がなくなりました。古ダンボール箱をいただけませんか。

山谷農場事務局（藤田 寛）小海町芦谷

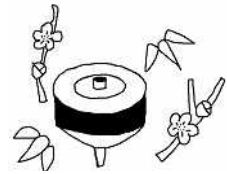
ヒルサイドコーポ 一 二 号室毎週金曜・土曜は  
あります。電話090・1436・6334

〒747042・786・2088

メール [nyoro@beige.ocn.ne.jp](mailto:nyoro@beige.ocn.ne.jp)

カンパニ振替 一四 四五三七九六

# 多く赦された者は、 多く愛する



主イエスがガリラヤ伝道をしていたとき、パリサイ人シモンの食卓に招かれた。パリサイ人というのは、当時のユダヤ社会における宗教学派で民衆の支持を集めていた。シモンは最近あらわれて民衆の人気を独占しつつあるイエスの正体を見きわめてやるうと考えたのだった。

主イエスがシモンの家を訪ねたとき、シモンはあいさつの口づけもせず、足を洗う水も出さなかった。どちらも、当時のユダヤ社会では、お客を迎えたときのマナーだったのだが。

さて、主イエスとシモンが食卓についていると、町で札付きの罪深い女がやってきた。この女は、イエスによって七つの悪霊を追い出してもらったマグダラのマリヤではないかと推測する向きもある。女は塵埃にまみれ

たイエスの足に口づけし、ぼろぼろ涙を落とし、それを髪でぬぐい、香油をぬった。

もし彼女が七つの悪霊に取り付かれていたマグダラのマリヤだったとしたら、彼女は、魔術や占いに凝り、絶え間ない暗闇の恐怖と不安、幻覚にさいなまれ、怒りと恨み、アルコールとセックスに溺れていた可能性が高い。

ところが、ある日、彼女は主イエスに出会った。衝撃だった。イエスは権威と愛とに満ちていた。イエスの権威あることばで、七つの悪霊は彼女から出て行った。そして、彼女は足の先から頭の先まで浸りきっていた罪深い生活習慣から解放された。

彼女の人生は百八十度変わった。恨みは愛に、自己憐憫は喜びに、不安は平安に、ねたみと恨みは感謝に、悪意は善意に、偽りは誠実に、とげとげしい心は柔和になった。どうしてもやめられなかった中毒的悪習からも解放された。まさに、「神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。」(コロサイ1:13)とあるとおりのことが、彼女の人生に起こった。これをどうして感謝しないでいら

れようか。彼女は、新しい人生を神に献げて生きることを願い、主イエスの弟子団をサポートする人々の輪に加わった。

パリサイ人シモンは、心の中で「イエスが預言者ならば、この女がどれほど罪深い女であるかを知っているであろうに。」とつぶやいた。すると、イエスはひとつの譬えを話された。「ある金貸しから、ふたりの者が金を借りていた。ひとりには五百デナリ、もうひとりには五十デナリ。彼らは返すことができなかったので、金貸しは二人とも赦してやった。では、二人のうちどちらがよけいに金貸しを愛するだろうか?」

シモンは「よけいに赦された者でしょう。」と答えた。正解である。イエスは言われた。「この女の多くの罪は赦されています。というのは、彼女はよけい愛したからです。しかし少ししか赦されない者は、少ししか愛しません。」

私たちは神の前に罪という負債を負い、また罪に縛られて生活している。主イエスのもとに来るならば、主イエスは、あなたの罪を赦し、罪の縄目から解放して、新しい人生を与えてくださる。

# 今、ルールは変わった

## 十代に蔓延する性感染症



米国で若い夫婦に子どもが生まれたが、出産後四日目、子どもが激しい痙攣に襲われた。原因は、父親が十八歳のとき付き合った女性からうつされていた性器ヘルペスだった。数年後結婚して、それが妻に、そして胎児に感染したのである。性器ヘルペスに胎児が感染すると、生存率は五十パーセント。生存しても脳に重い障害を背負うことになる。

性感染症は米国の十代の若者たちの隠れた疫病であり、その種類は二十五 三十種類。十代の四人に一人が性感染者である。そのことがあまりに知られていないのは、性感染者たちの八十五パーセントは右の父親のように自覚症状がないからである。

HPVは子宮頸がんの原因となる。その感染力は強く、十代女性の子宮頸部はウイルス耐性がないので、一度の性交で八十五パーセ

ント感染する。現在、米国人の十二歳以上の二十パーセントが性器ヘルペスに感染している。近々米国女性の五十パーセント、男性四十パーセントが性器ヘルペス感染者となってしまう。

淋病・梅毒・クラミジアには治療薬があるが、性器ヘルペス・HIV・HPVなどには治療法がないので、後年、結婚すると配偶者に感染する。米国では年間千五百万人が性感染症になっており、その三分の二が二十五歳以下である。HIVのみが注目されているが、米国ではHPVで五千人の女性が子宮頸がんを命を落としている。

過去二十一年間で十代のコンドーム使用率は三倍以上に伸びた。その結果、妊娠数は減少したが、性感染症患者は反対に増加している。つまり、コンドームでは多くの性感染症は防げないのである。米国立衛生研究所は次のように発表した。「コンドームは、HIVおよび男性の淋病の感染を減少させることはできるが、その他の性感染症についての予防効果を示すデータはない。」

日本ではどうだろうか。一九九五年から二五年で、エイズ患者・HIV感染者は

三・五倍に激増し、報告件数は九六九一件に上る。二 六年一月から三月までに報告されたエイズ患者・HIV感染者数は一二五五件に上る。感染しているが本人が自覚していないケースはその何倍だろう。

現在、日本の十代の若者の間でクラミジア、HPVが大流行している。これはごく近い将来のエイズ大爆発の予兆である。

以上は、最近見た『今、ルールは変わった』というビデオの概要である。驚いて知り合いの医者に話したら、佐久地域はもつとひどいという。現代の若者たちにとって、結婚外のセックスは常識だそうであるが、それは自己と将来の配偶者や子ども的人生を破壊し、生命までも奪う可能性の高い罪深い行為である。結婚まで貞操を守るといって創造主のルールに立ち返るほか安全な道はない。

「不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものです。しかし、不品行を行なう者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。」(コリント六十八・十九